

地域共生マネジメントプログラムへの出願を検討されている皆様へ

本プログラムに興味をお持ちいただき誠にありがとうございます。

ご不明点等ありましたら、農学部入試事務室までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

修了要件 修業年限1年(2年を超えることはできません)

- ・修士課程に原則1年以上在学し、食料生産システム科学分野の「生産環境システム学特論」2単位、プログラムの科目「地域環境計画学特論」2単位、「地域連携・経営学特論Ⅰ」2単位、「地域連携・経営学特論Ⅱ」2単位、「地域課題探究演習Ⅰ」2単位、「地域課題探究演習Ⅱ」2単位、「特別研究」10単位に加え、プログラムの科目「動植物環境共生学特論」、「食品バイオサイエンス特論」、「中山間地域管理学」、「生命産業科学特論」、「地域課題探究特論」から計4科目8単位以上、合計30単位以上を修得する。
- ・必要な研究指導を受けた上、特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。

授業科目

各科目は全15回あります。(学年暦参照)

◆前期授業期間:4月～7月下旬

◆後期授業期間:9月下旬～1月下旬

科目名	開講時期(予定)	受講方法	単位数	必修/選択	
生産環境システム学特論	前期	オンデマンド(対面可)	2単位	必修	
地域環境計画学特論	前期	オンデマンド	2単位	必修	
地域連携・経営学特論Ⅰ	前期	オンライン、オンデマンド、シンポジウム等への参加	2単位	必修	
地域連携・経営学特論Ⅱ	後期		2単位	必修	
地域課題探究演習Ⅰ・Ⅱ	通年・ゼミ科目	調査・研究・ゼミ参加 論文作成	計4単位	必修	
特別研究	通年・研究科目		10単位	必修	
動植物環境共生学特論	前期	オンデマンド	2単位	選択	4科目 8単位以上
食品バイオサイエンス特論	後期	オンデマンド	2単位	選択	
中山間地域管理学	前期	オンデマンド	2単位	選択	
生命産業科学特論	前期	オンデマンド	2単位	選択	
地域課題探究特論	通年	指導教員が相談の上設定	2単位	選択	

授業科目の受講について

- ・本プログラムの座学講義は、一部を除きeラーニング(オンデマンド形式)で実施します。前期・後期の期間中、ご自宅等で計画的に受講を進めてください。各講義の質問はメール等で担当教員へ連絡が可能です。なお、各回においてレポート課題があり、単位修得にはレポート課題の提出が必要です。

研究について

- ・ご自身の研究課題について、指導教員のもとで進めていただきます。

【入学前の事前準備】

- ・1年間という限られた期間のため、合格決定後～入学前の期間も大切な準備期間となります。早めに指導教員と相談し、研究計画を立て準備を進めてください。

【指導方法】

- ・研究指導は原則対面で実施します。定期的なキャンパスへの来学が必要です。研究指導の日時については、指導教員と履修生で調整してください。

【論文提出、研究発表】

- ・1月末に「特定課題研究成果報告書」を提出し、2月上旬の「成果発表会」にて発表を行います。

1年間のスケジュール（学年暦参照）

4月初旬	ガイダンス（対面）、安全講習会の受講（e-Learning）、研究指導計画書の提出
4月～7月下旬	前期授業の受講、研究活動
9月末～1月下旬	後期授業の受講、研究および特定課題研究成果報告書の作成
1月末	特定課題研究成果報告書の提出
2月上旬	特定課題研究成果発表会（対面）
3月上旬	修了判定結果公開
3月下旬	大学院学位授与式

【※出願に際して※】募集要項を必ずご確認ください

【事前の教員コンタクト】

- ・出願には指導教員の受入れ承諾が必須となります。検討中の方は、ご自身の現在の課題や大学での研究希望について、できるだけ早めに希望教員へご相談（コンタクト）ください。教員の研究内容は、下記「学部研究紹介」「研究者総覧」からご確認いただけます。

※連絡先が不明な場合は、入試事務室までお気軽にお問合せください。

- ・1年間で修了を目指すため、出願時に既に業務で取り組んでいる課題があり、調査・データ収集等をされていることが望まれます。（職場で取り組んでいる課題を大学教員と解決していくプログラムです。）

【専門実践教育訓練給付制度のご利用について】

- ・厚生労働省 専門実践教育訓練給付制度の利用をご希望の方は、受給資格の有無等について、お早めにお近くのハローワークへご確認ください。

●農学部研究紹介 <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/overview/labo/>

●研究指導ができる教員一覧 ※変更がある場合があります。

https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/scienceandtechnology/2027AS_shakai_01-2_kenkyukaannai.pdf